

滋賀県知事 嘉田由紀子 殿
滋賀県教育長 末松忠彦 殿

2008年7月8日

日本共産党湖南地区委員会委員長	石黒 良治
同副委員長（滋賀県議会議員）	西川 仁
同副委員長（甲賀市議会議員）	山岡 光広
草津市議会議員	藤井 三恵子
同	久保 秋雄
栗東市議会議員	馬場 美代子
同	国松 清太郎
同	太田 浩美
守山市議会議員	小牧 一美
野洲市議会議員	小菅 六雄
同	野並 享子

県立野洲養護学校に関する要望書

今年4月、滋賀県立野洲養護学校が開校しました。同校は八幡養護学校の「移転校」と位置づけられているようですが、実際には「八幡養護と八日市養護」の子どもたちが通っており、学区再編で栗東市内の子どもたちも通っています。また「肢体単独校」から「知肢併置校」となったうえで、八日市養護の大規模化を解消するはずだったのに、実際には、定員170人に対して191人で開校するなど、文字通り「新設校」として、さまざまな課題をかかえながら開校したというのが実態です。

私たち、日本共産党湖南地区議員団はさる6月5日、同校を訪ね、実情を聞かせていただくとともに、要望もお聞きしました。また保護者から要望が出されている、通学路の安全対策についても、実際に、JR篠原駅から学校まで、登校する子どもたちと一緒に、歩いて調査もしました。こうしたことをふまえて、特に、次の点を、緊急に改善されるよう、強く要望するものです。

一、通学路の安全対策について

JR篠原駅から学校までの通学路については、平成18年度から順次整備をすすめているということですが、現状では健常者でも歩いての通行が非常に危険な状態となっています。

- ① 整備の全体計画について明らかにしていただきたい。
- ② 「歩道」が確保されていないため、篠原駅から一部区間、道路端の舗装面に

グリーンを塗っているが、それも途中で途切れています。少なくとも、通学路となっている区間については、きちんと整備すべき。

- ③ 光善寺ハイツから県道を横断する交差点は、非常に危険です。安全対策を講じられたい。

二、 スクールバスの改善について

スクールバスは、5台運行されています。しかし開校後新たに運行となった一台を除いて、満車状態です。しかも遠距離の子どもたちは、長時間の乗車を余儀なくされています。

- ① 「配慮席」を設けるなど余裕をもたせた配車にすること。
- ② スクールバスには、二名の介助者を配置すること。
- ③ 運行全体を見直し、長時間・満車状態を解消すること。

三、 寄宿舎の職員体制について

寄宿舎職員については、1名の加配がされたものの、それでもなお、寄宿舎職員だけでは体制が不十分なために、毎週火曜日・水曜日・木曜日の週三泊は、学部教員が応援に入って、なんとかやりくりしているのが実態です。

- ① 早急に、寄宿舎職員を増員し、非常事態の体制を改善すること。

四、 学部教員の体制について

本来なら「新設加配」がされるべきなのに「移転」という理由から、職員の体制が不十分のまま開校しました。慣れない職場ということも重なり、教職員に多大な負担となっています。

- ① 早急に、職員の増員をはかること。

五、 施設改善について

新しく開校した学校でありながら、体育館が狭かったり、備品などがきちんと整備されていない状況もあります。必要な施設整備については、補正できちんと対応されたい。特に学校から要望があった、「エアコン」の設置については、緊急に対応されたい。

以上。